

# 平成18年度まちづくりと決算状況

まちの財政は、一般会計のほか6つの特別会計を設けて運営しています。このほど平成18年度各会計の決算がまとまりましたので、その内容についてお知らせします。

すべての会計決算は、監査委員の意見を付して昨年9月20日開会の第3回町議会定例会に提出し、決算審査特別委員会に付託された後、12月17日開会の第4回町議会定例会において認定されました。

決算は、まちづくりを進めていくうえで予算がどのように使われたのか明らかにしたものです。その内容を詳しく見てみましょう。

## 一般会計支出総額 37億6,641万2千円

## 6特別会計支出総額 15億8,456万6千円

### ◆ 一般会計歳入歳出決算額 ◆

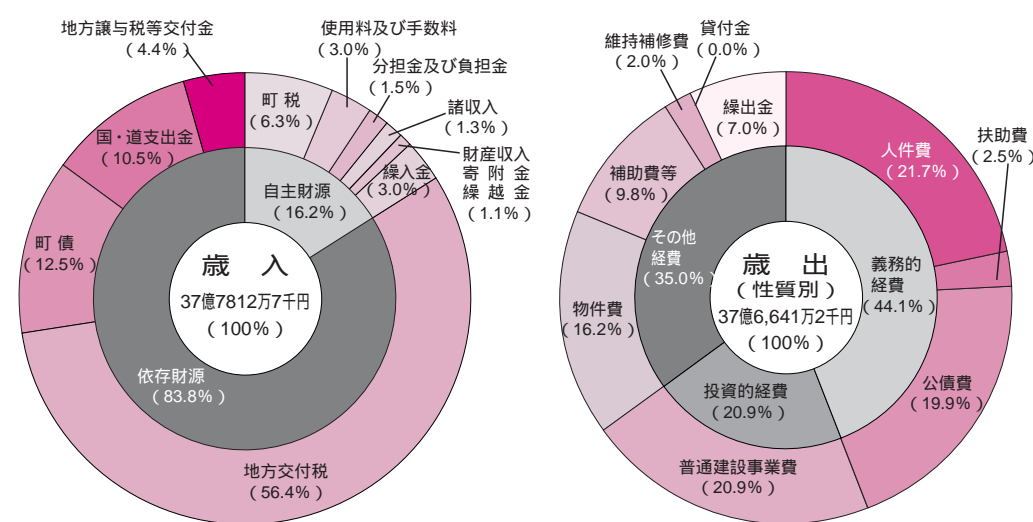
#### 【歳入】

区分	決算額	構成比	前年度増減
町 税	2億3,635万8千円	6.3%	529万1千円
地方譲与税等交付金	1億6,834万0千円	4.4%	635万2千円
地方交付税	21億2,942万4千円	56.4%	3,927万5千円
分担金及び負担金	5,695万4千円	1.5%	3,724万3千円
使用料及び手数料	1億1,206万0千円	3.0%	224万7千円
国・道支出金	3億9,535万3千円	10.5%	3,535万7千円
財産収入	3,551万3千円	0.9%	1,058万1千円
寄附金	30万0千円	0.0%	0千円
繰入金	1億1,450万0千円	3.0%	4,772万8千円
繰越金	668万2千円	0.2%	85万2千円
諸収入	5,024万3千円	1.3%	150万7千円
町 債	4億7,240万0千円	12.5%	1億 260万0千円
歳入合計	37億7,812万7千円	100.0%	9,693万7千円

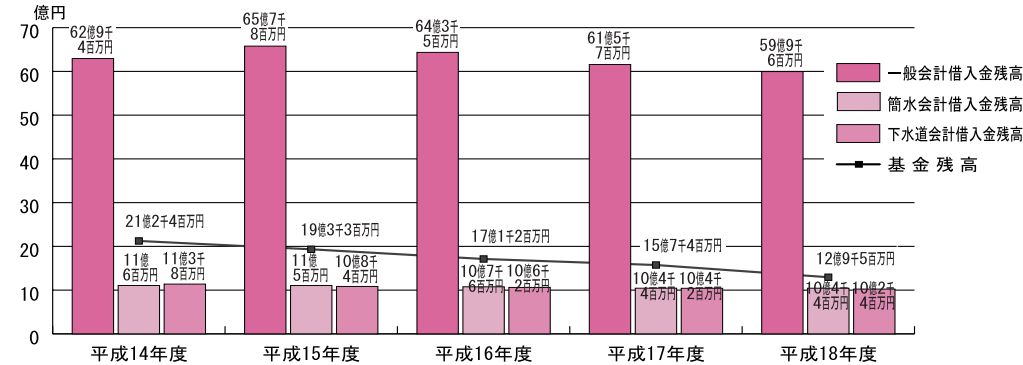
#### 【歳出】

区分	決算額	構成比	前年度増減
人件費	8億1,610万6千円	21.7%	1,807万7千円
物件費	6億 885万0千円	16.2%	2,981万5千円
扶助費	9,555万1千円	2.5%	525万6千円
補助費等	3億6,860万5千円	9.8%	2,401万0千円
維持補修費	7,512万3千円	2.0%	1,429万4千円
普通建設事業費	7億8,596万0千円	20.9%	1億4,204万4千円
公債費	7億5,135万3千円	19.9%	2,555万8千円
積立金	0千円	0.0%	1万8千円
繰出金	2億6,256万4千円	7.0%	1,012万0千円
貸付金	230万0千円	0.0%	40万0千円
歳出合計	37億6,641万2千円	100.0%	9,190万4千円

### ◆ 歳入歳出構成図 ◆



### ◆ 借入金および基金残高の推移 ◆



### ◆ 特別会計の決算状況 ◆

特別会計名	収入総額	支出総額
国民健康保険事業特別会計	3億7,861万9千円	3億3,642万8千円
老人保健特別会計	3億8,020万9千円	3億8,012万2千円
介護保険特別会計	1億9,463万6千円	1億8,004万3千円
介護サービス事業特別会計	2億6,444万6千円	2億6,049万7千円
簡易水道事業特別会計	2億2,777万7千円	2億2,613万0千円
公共下水道事業特別会計	2億 370万0千円	2億 134万6千円
合 計	16億4,938万7千円	15億8,456万6千円

- 人件費  
職員給与や議員・各種委員会委員報酬などの経費
- 物件費  
施設管理や物品購入、旅費などの経費
- 扶助費  
老人医療助成、児童手当などの経費
- 補助費等  
消防組合、串内草地組合などへの負担金および各種団体への補助金経費
- 維持補修費  
道路の維持および除雪経費、公共施設の補修経費
- 普通建設事業費  
公営住宅、町道整備などの公共事業経費
- 公債費  
借入金の返済金
- 積立金  
各種基金への積立金
- 繰出金  
簡易水道、下水道会計など特別会計への繰出金
- 貸付金  
奨学資金や水洗化改造資金の貸付金

- 義務的経費  
人件費などその支出が義務付けられている経費
- 投資的経費  
道路、住宅などの公共事業経費
- その他経費  
義務的経費、投資的経費以外の経費

**町民1人あたりの収入額**  
128万9千円

平成18年度の一般会計の決算額は、収入総額37億7,812万7千円で前年度に比べて9,693万7千円(2.6%)増加しました。これは、公営住宅整備事業などの事業費が増加したことにより、国・道支出金(補助金)が3,535万7千円増加したことや、これらの事業に伴う町債(借入金)が1億2,600万円増加したことが主な要因です。

また、収入総額の約6割を占める地方交付税は、国の三位一体改革により3,927万5千円減少しました。

町税など自主財源の割合は2割未満となっており、まちの財政運営は、国に大きく依存していると言えます。

**町民1人あたりの費用額**  
128万5千円

支出総額は、37億6,641万2千円で前年度と比べて9,190万4千円(2.5%)増加しています。

**町民1人あたりの借入金残高**  
275万2千円

平成18年度末の借入金の残高は、一般会計で59億9,594万7千円、特別会計で20億6,752万6千円、総額は80億6,347万3千円となっており、前年度より1億7,915万6千円(町民1人あたり1万円)減少しています。

また、財政状況のゆとりが目安となる経常収支比率は85.1%となっており、前年度に比べて1.6%悪化し財政の硬直化が進んでいます。

なお、各収入額と支出額は別図のとおりです。

### ◆ 町税の内訳 ◆

項目	収入額	構成比
町民税	8,753万0千円	37.1%
固定資産税	1億2,533万0千円	53.0%
軽自動車税	357万7千円	1.5%
町たばこ税	1,941万2千円	8.2%
鉦産税	50万9千円	0.2%
合計	2億3,635万8千円	100.0%

**町民1人あたりが納めた町税**  
8万1千円

町民皆さんに納めていただいた町税の総額は、2億3,635万8千円で収入総額の6.3%の割合となっています。

**町民1人あたりの預金残高**  
44万2千円

一般会計の歳入不足を補うために積み立てている基金の残高は、平成18年度末で12億9,467万6千円となっており、前年度より2億7,950万円(町民1人あたり8万6千円)減少しています。